

おおだて 

令和3年11月1日 142号

市議会だより



令和3年9月定例会 議案等の審議結果……▶	2
常任委員会から……▶	6
一般質問……▶	8
令和2年度決算特別委員会……▶	13
私もひ・と・こ・と……▶	14

市役所本庁舎水盤で遊ぶ子供たち
(令和3年9月2日撮影)

9月定例会の主な議案等の審議結果



令和3年9月定例会は、8月23日から9月27日までの36日間の会期で開催されました。市長提出議案は、報告2件、専決処分の承認1件、条例案5件、単行案7件、予算案8件、決算の認定19件など、合計44件でした。

ここでは、審議の結果の主なものをお知らせします。決算については13ページをご覧ください。

専決処分の承認

承認

認 第 7 号 令和3年度大館市一般会計補正予算（第5号）

条例案

原案
可決

- 議案第80号 大館市個人情報保護条例の一部を改正する条例案
- 議案第81号 大館市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例案
- 議案第82号 大館市手数料条例の一部を改正する条例案
- 議案第83号 大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

など

単行案

原案
可決

- 議案第85号 財産の取得について（除雪グレーダ（4.0m級）1台）
- 議案第86号 市道路線の廃止について（代野道北7号線）
- 議案第87号 市道路線の認定について（代野道北西3号線 外4路線）

など

補正予算案

原案
可決

- 議案第88号 令和3年度大館市一般会計補正予算（第6号）案



〈主な内容〉

- ・ふるさと応援寄附推進事業費 追加 3億1,251万円
- ・二酸化炭素排出抑制対策事業費 計上 1,017万円
- ・新型コロナウイルスワクチン接種事業費 追加 1億 103万円
- ・道路維持費 追加 3,400万円
- ・除雪費、除雪関連経費 追加 4億6,900万円

など

以上を含め、歳入歳出予算補正額 11億6,896万3,000円



ニプロハチ公ドームで行われた新型コロナウイルスワクチン接種の様子

補正予算案

原案
可決

- 議案第89号 令和3年度大館市国民健康保険特別会計
補正予算（第1号）案
- 議案第90号 令和3年度大館市介護保険特別会計
補正予算（第1号）案
- 議案第91号 令和3年度大館市戸別浄化槽整備事業特別会計
補正予算（第1号）案
- 議案第92号 令和3年度大館市農業集落排水事業特別会計
補正予算（第1号）案
- 議案第93号 令和3年度大館市温泉開発特別会計
補正予算（第1号）案
- 議案第94号 令和3年度大館市病院事業会計
補正予算（第2号）案



9月定例会に提出された請願・陳情

継続
審査

- 請願第8号 扇田病院の無床診療所化に反対する請願書
- 陳情第42号 人道的見地から、沖縄防衛局による「沖縄本島南部からの埋め立て用土砂採取計画」の断念を国に要請すること



継続審査となっていた請願・陳情

継続
審査

- 請願第 3 号 秋田犬会館の改修工事への助成について
- 請願第 4 号 地域医療を守り、公立病院等の維持・存続を求める意見書の提出要請について
- 陳情第 6 号 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外への移転を民主主義及び日本国憲法に基づき公正に解決させるよう求める意見書の提出要請について
- 陳情第 8 号 「沖縄県民は先住民族」との国連の勧告を撤回させることを求める意見書の提出要請について
- 陳情第 9 号 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進するよう求める意見書の提出要請について
- 陳情第10号 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出要請について
- 陳情第25号 公立学校に1年単位の変形労働時間制を導入する条例制定に反対する意見書の提出要請について
- 陳情第30号 日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について
- 陳情第38号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書の提出要請について
- 陳情第39号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担割合引上げを図るための、2022年度政府予算に係る意見書の提出要請について
- 陳情第40号 日米地位協定の抜本的な見直しを求める意見書の提出要請について
- 陳情第41号 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について国民的議論を行い、憲法に基づき公正かつ民主的に解決するべきとする意見書の提出要請について

常任委員会から

大館市議会には4つの常任委員会があり、それぞれが所管する議案等の審査をしています。ここでは、9月定例会の審査の概要をお知らせします。

総務財政常任委員会

地方創生関連事業の効果検証について

大館市総合戦略に基づき、国の地方創生臨時交付金を活用して実施した事業に係る令和2年度の取組について、外部有識者による「大館市総合計画及び総合戦略推進懇談会」で検証された結果が、企画調整課から報告された。野遊びSDGsの推進については「ここ数年、キャンプが注目を集めており、よい取組である」令和2年度途中から事業開始であり、予定する取組内容から今後の展開に高い期待を持っている」との意見が出された。

ドクターカーの運用に関する協定について

秋田大学医学部付属病院が所有するドクターカーの運用に関する協定について、消防本部から報告された。秋田大学と県内13消防本部が協定を結び運用するもの。秋田大学が運営するドクターカーに医師、看護師などが乗車し、救命処置の必要な患者が発生した現場に出勤して医療行為を行う。消防本部は「市

民の安全・安心のため有効と考えており、大学としっかり協議し、運用開始に向けて準備をしていきたい」との考えを示した。



総務財政常任委員会の様子

厚生常任委員会

扇田病院老朽化の進行状況を調査

9月2日、扇田病院の現地調査を行った。建築から37年が経過して老朽化が進み、昨年度実施した建築設備劣化度調査で、電気、空調・換気、給排水設備の約7割が1〜2年以内に修繕が必要な重度、速やかに修繕が必要と診断されている。調査で漏水や末端部の詰まりなどが指摘された給排水設備では、1階の外来で天井などに複数の水



現地調査の様子（つどいの広場ひよこ）

漏れを確認した。冷暖房設備も老朽化による故障で使えなくなったり、性能が低下したりしていた。地下のボイラー室では、フランジ部の発錆や蒸気漏れの跡を確認した。また、子どもの遊び場整備の一環で8月に移転オープンしたニプロハチ公ドームパークセンター内の「つどいの広場ひよこ」も調査した。



現地調査の様子（扇田病院）

教育産業常任委員会

新規作物導入実証事業 について (アグリノベーション事業)

9月1日の委員会で、新規作物導入実証事業（アグリノベーション事業）について農政課から説明を受けた。

この事業は、米依存からの脱却により、安定的、かつ効率的に所得を確保できる持続可能な経営体を育成するため、新規作物（麦）の導入による輪作体系と、出口戦略によるブランド化を推進するものであり、第3次大館市農業ビジョン（令和3～7年度）の中でも拡充策として麦類の新規作物の推奨があげられている。

今年度は春まき小麦の試験栽培が行われており、その栽培指導・講習の実施、販売・加工等の検証、試作品開発の委託等のための補正予算が計上された。

9月2日には現地調査を行い、ニンニクの産地化を目指し園芸メガ団地整備事業が進められている田代地域を視察し、その進捗状況等を確認した。



教育産業常任委員会の様子



現地調査の様子（ニンニクメガ団地）

建設水道常任委員会

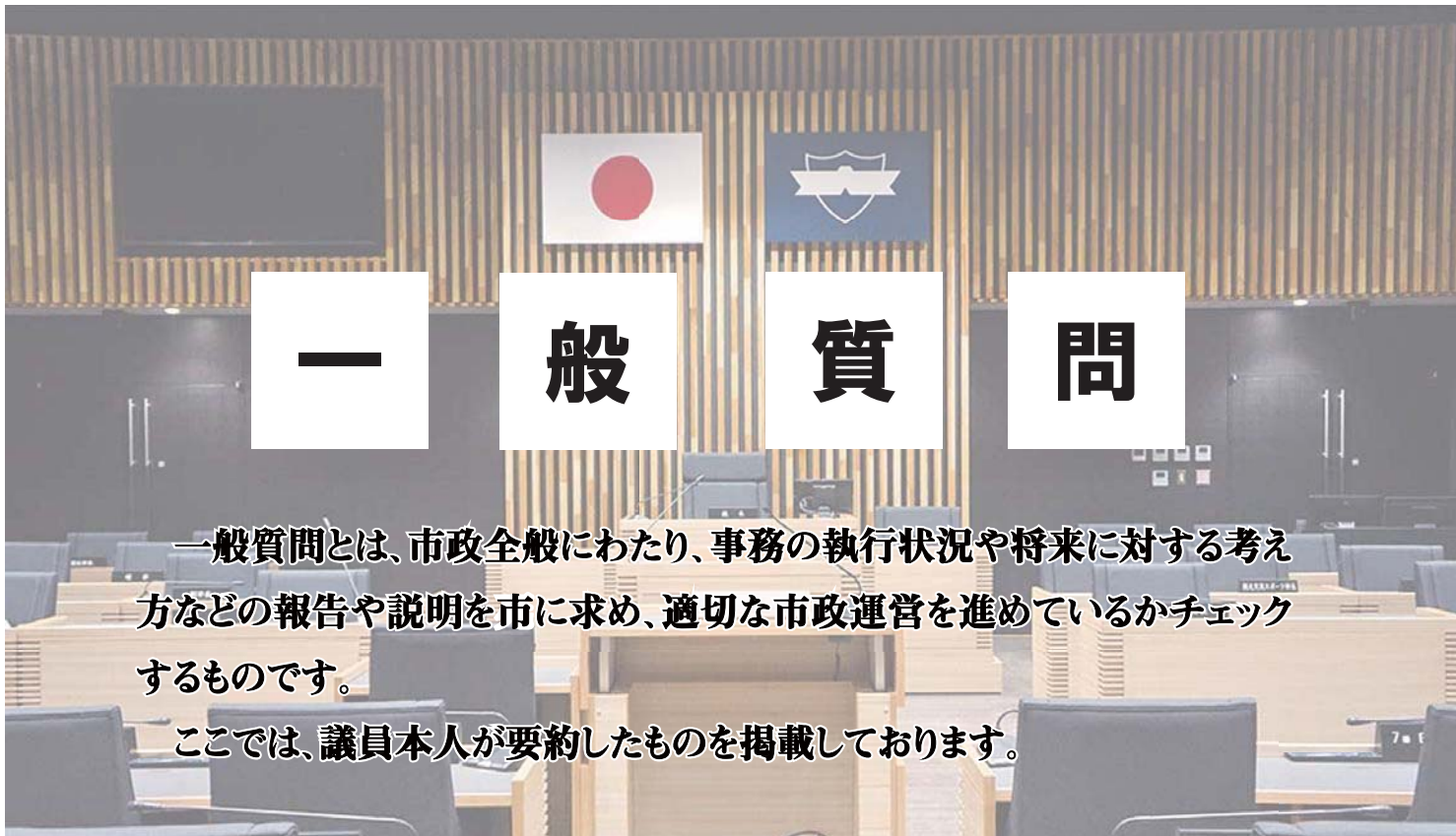
包括的民間委託について

加速するインフラの老朽化や市の技術職員数、建設業従事者の減少など、インフラ維持管理に係る多くの課題を抱える中、民間事業者による創意工夫やノウハウの活用を通じた維持管理の効率化などを目指す包括的民間委託の導入について、その進捗状況が報告された。今年6月には、国土交通省から包括的民間委託の導入検討を支援するモデル自治体として採択され、国土交通省や地元建設業協会との打ち合わせや意見交換会を実施。令和4年度の試行実施に向けた先行導入地区の選定や業務範囲の絞り込みなどが進められている。委員からは、導入による効果や大企業による独占への懸念、また、地元業者の積極的な活用を求める意見などが出された。総括質疑においても質問が出され、市長は「この取組は地元業者を育てるためのものと考えている。建設業界の再編が進むことが予想され、大館の歴史と技術を誇る匠の建設業界を残していくことが大切であり、



建設水道常任委員会の様子

県内唯一のモデル地域に選定されたことから成功に向けてしっかり取り組む」と理解を求めた。その他、大館市バリアフリー基本構想の策定状況、大館市住生活基本計画及び大館市公営住宅長寿命化計画の策定状況、大館市生活排水処理整備構想の見直しなどについて報告された。



一般質問とは、市政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を市に求め、適切な市政運営を進めているかチェックするものです。

ここでは、議員本人が要約したものを掲載しております。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

市道の補修・管理、敬老会の実施方法、
新型コロナウイルスワクチン3回目接種について等

柳館 晃 議員（令和会）
よなきだて しょう



〔市長〕 路盤の厚さを十分にとっていないかった時代があつたが、現在は全面的な舗装改修を実施する場合、試掘調査等を行い、設計と施工方法を決定している。包括的民間業務委託の導入に当たっては、民間の技術力を取り入れ、迅速で品質良好な舗装補修の実施に努める。

〔市長〕 敬老会の実施方法について、市では希望する町内会に対し、該当者一名につき千円を助成するとのことだが、該当者の名簿を市から発行してもらえないため実施のしようがない。また、一名当たり千円という額も適当か。もっと配慮するべき。

〔市長〕 本事業の実施に当たり、個人情報保護の観点から、名簿を提供できないが、市から対象者へ連絡するなど、適宜に対応したい。また65歳以上の市民3千人を対象にした敬老会に関するアンケートの結果を踏まえながら、助成額も含め検討したい。

〔市長〕 今後、国の動向を注視し、関係機関と協議、連携し、ワクチン確保も含め、判断する。これまで同様万全な態勢で臨み、市民の安全、安心の確保に全力で努める。

〔市長〕 地域貢献を目指して活動している団体は多数あるが、そのような団体があるならば、健全な運営に取り組んでいただくよう、働きかけたい。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

扇田病院の赤字は3400万円と少なく総合病院の12分の1でしかない。また、市第1案の104床のまま全館改修し平成24年の「病院事業経営改革プラン」を実施すれば黒字になるため、市が言う赤字は扇田病院を廃止し診療所にする理由にはならない。なぜ全館改修し存続させる道を選ばなかったのか

佐藤 芳忠 議員（市民の風）



〔問〕 扇田病院が無くなり診療所になれば、総合病院も他の経営形態に移り大館市から市立病院が無くなってしまおうでしょう。市長は2019年12月議会で「扇田病院が無くなることは決してありません。存続です」と答えましたが、2021年6月には廃止し診療所にするとうりました。

2006年度から2020年度までの15年間の年平均で総合病院は4億6千万円の赤字ですが扇田病院は6千万円の赤字しか出していません。2012年に市立病院は黒字にするプランを立てましたがこのプランが全く行われず、2016年には患者を減らすプランを立てて、「2020年度までに経営の改善が見込めないと判断される時は、他の経営形態への移行についても検討する」としたのです。市長も認めたのです。

そして2020年度に入院患者は2万人減り外来患者も2万人減りました。患者を4万人も減らして黒字になるわけがありません。なぜ黒字になる全館改修し存続させる道を選ばなかったのか。

〔市長〕 平成24年の経営改革プランに拘泥することは私は好ましくないと考えてる。確かに私は「扇田病院は決して潰さない。存続させます」と言いました。それは扇田を始めとする市内に診療する場所を、医療を提供する場所を残す。という意味だということをご理解いただきたい。

扇田病院は救急からあらゆる診療科目を持つている。地域にとって中核的な役割をしています。総合病院の機能と、扇田病院の機能は異なり、赤字額や繰出額をもって比較論することは適当ではないと考えています。扇田病院の病棟を維持するための借入れを扇田病院が単体で行った場合、30年にわたる借入元利金の返済を扇田病院の医業収益で返済していく目途は立たない状況判断で、病棟を維持する案を議会に示さなかったのです。

診療する場所をちゃんと残して、ベッドを病院事業でしっかりと持つて、そこを考えていくことが一番私は重要だというふうに考えています。

一般質問の全文は、12月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

熊やイノシシへの対策について

明石 宏康 議員（市民の風）



茂する雑木は絶好の通路になっている。県と協議してほしい。町内会や学校などあらゆる場所での尚一層の注意喚起を願う。猟友会だけではなく、多くの住民との危機意識の共有が大切だ。

〔市長〕 4月には人身被害が出たほか、相次ぐ出没に市では初となる出没警報を発令した。期間中は警察など関係機関と一体となり、チラシ配布などの広報・注意喚起や捕獲強化により出没件数の減少につなげることができた。奥山に実のなる広葉樹を増やす針広混交林化事業の促進や、緩衝帯整備、通り道となる河川区域内の樹木伐採についても、調査の上、関係機関に働きかける。

〔問〕 当市の姉妹都市でもある茨城県常陸大宮市にて、猟友会がイノシシ捕獲の研修を受けた。年間1400頭余りの捕獲を行う現地でも15年前は37頭、30年前はもっと少なかった。当市でのこれ以上の繁殖を抑えるため先手の対策を願う。

〔市長〕 本市におけるイノシシ出没件数は7件で、甚大な被害はないが、大阪府では死亡事故が発生しており、非常に危険性は高いと認識している。捕獲支援の検討と人材確保へ向けた取組の充実を図る。

〔問〕 「鳳凰大橋を熊が渡っていた」、柄沢の住宅地に大きな熊が出た」など、今年も街中で多くの出没情報があった。刈り払いなどゾーニングによる効果は大きいですが、どうしても隙間を縫うように熊が現れる。警報の発令は街中での人身被害を防ぐ一因にもなり、英断であったと考える。山に栗やドングリなど豊富な食べ物が実るまでは十分な警戒が必要だ。河川敷に繁



※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

扇田病院無床化に対する 市長の政治姿勢を問う

相馬 エミ子 議員（市民の風）



〈問〉 これまで市長は「扇田病院は存続させます。決してなくなることはありません」と明言していたのに、一方、経営戦略会議で病院の無床化を進めるとするのは、議会軽視ではないか。突然の無床化ありきには困惑と憤りを感じざるを得ない。

〔市長〕 経営戦略会議は令和2年1月に設置され、扇田病院の機能分化の推進と必要な地域医療を継続して提供するための課題や解決策を協議し、1年半かけて検討してきた案である。住民説明会を経て、大館・鹿角地域医療構想調整会議で幅広い意見を伺い、解決につなげたい。

〈問〉 扇田病院の開設者としての説明責任について。なぜ説明会に出席しなかったのか。市民から不満の声が上がっている。

〔市長〕 自治体病院の経営において、開設者である首長から独立した

権限を有する病院事業において、7か所での説明会をさせていただいた。

〈問〉 地域医療の専門家、伊蘭教授の「扇田病院を存続させよう」という意思があれば、知恵と工夫次第で可能です。扇田病院の療養病床は宝です。病院の存在価値を収支や費用対効果だけで機械的に切り捨てるのはいかがなものか」という訴えを、どのように受け止めているのか。

〔市長〕 講演者から療養型の新築の提案があつたようだが、ある先生は「急性期医療体制が十分でない病院をどうするか、健康相談ができる病院を目指せばよい」としている。

〈問〉 方針を撤回させる考えはないのか。約1万7000人の反対署名の重みについて、市民の信を問う住民投票についての考えを伺う。

〔市長〕 「病床に隔離して治療するのが最善ではない。「病床なき成長モデル」を医療が工夫できる余地は大きい」という考えがある。要望書に関しては、平成17年の合併協定書に、病院機能を検証し連携することを考えるとある。原点を見つめ直す機会だ。住民投票については、方向性の案に関し議会において十分審議いただくことが基本的原理である。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

「扇田病院は決して潰しません。存続させます。」の答弁を、再度市民に伝えること

笹島 愛子 議員（日本共産党）



〈問〉 政府が公立・公的病院に対し、再編・統合することや、機能転移することを具体化するよう求めた中に、扇田病院も入っており、市民は大きなショックを受けた。

そのことに対し、私は令和元年12月定例会で「扇田病院の再編・統合はあり得ない。断固守り抜く決意を市民に示すこと」と質問したことに對し「扇田病院は決して潰さない。存続させる。これが私の強い意志だ」とハッキリ答弁した。

この答弁を改めてこの場から市民に伝えるべきだ。

〔市長〕 扇田病院については、施設の老朽劣化度調査の結果を踏まえ、診療機能の様々なシミュレーション、将来の人口推計などを、中長期的な観点から、一年半にわたり病院事業において検討を重ねてきた。

このたびの方針案に対する議会や市民の御意見を踏まえ、秋田県の地域医療構想調整会議で議論いただきながら、本市が二つの病院の診療機能連携と役割分担を進め、医療体制の充実に努めていく。

〈問〉 厚生常任委員会に、入院廃止の方針が示され、私はもちろん信じられなかったが、市民の間には大きな不安が広がった。

その後、間もなく「扇田病院を守る会」が立ち上げられ、署名活動などスピード感を持つての対応には敬意を表すにはいられなかった。市長は、扇田病院は守ると断言したのだから、無床化方針は、まず白紙にするべきだ。

〔市長〕 このたびの病院事業が示した方向性の案に対する議会の御意見や、市民の皆様の声を受け止めるとともに、国の「地域医療構想」医師確保計画」などの動向を見据え、本市の二つの病院が、役割分担と機能連携により、確たる基盤の下で医療提供を継続していくことができるよう努める。

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

新型コロナウイルス感染対策について

佐々木 公司 議員（令和会）



〔問〕 新型コロナウイルスの3回目の接種が取り沙汰されているが、ワクチン確保の状況は。また、飲食店等関連産業への支援策はどうか。

〔市長〕 国で議論と検証が行われ、必要なワクチンは確保できると示されている。食タクシー事業のほか、テークアウトの広告や換気対策などを支援する事業継続力強化事業の申請期限を8月31日から12月28日まで延長したところである。プレミアム付商品券事業は、今年度2回目の販売を10月に実施したい。

デジタル化への取組について

〔問〕 大館市におけるデジタル化への取組は。

〔市長〕 ふるさと納税やマイナンバー関連業務に定型業務の自動化を導入。市民が利用できる電子申請についても順次拡大している。

縄文遺跡群のユネスコ世界文化遺産登録を本市も積極的活用を

〔問〕 北秋田市の「伊勢堂岱遺跡」、鹿角市の「大湯環状列石」がユネスコの世界文化遺産に決定した。これを機に両市に挟まれた大館市としても、観光振興に大いに取り組んでほしい。また、秋田犬は縄文犬の末裔といわれているが、そのことの認知度を高めてほしい。

〔市長〕 市では、登録前から、秋田犬ツーリズムが鹿角市の観光地域づくり法人と連携しており、今後も縄文犬をルーツに持つ秋田犬を活用した観光振興に努める。

集中豪雨等による自然災害の対応について

〔問〕 災害対策基本法が令和3年に改正され、「避難情報に関するガイドライン」が公表された。このことの周知徹底は。

〔市長〕 変更された避難情報は、市の広報やホームページで周知を図っている。土砂災害警戒区域等については、危険箇所の周知と避難体制の整備を図るため、防災マップの配布や住民説明会を行っている。

一般質問の全文は、12月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

扇田病院の性急な無床化方針を白紙に戻し
1万7千余りの署名の民意に伝える決断を強く求める

吉原 よしむら
正 議員（市民の風）



〔問〕 説明会では、経営が厳しい、改善が見込めない等を強調、利用する市民の視点が欠けているのでは。

〔病院事業管理者〕 現在の診療機能を維持することは財政状態の悪化を懸念する。利用されている患者さんに不安のないよう、説明会での意見を含めて医療、福祉現場からも幅広く意見を伺い、市民の理解を得たい。

〔問〕 扇田病院はよく頑張っていると専門家も評価している。総合病院も収支は厳しい。なぜ扇田病院だけ批判されるのか。

〔病院事業管理者〕 経営を批判しているわけではない。新たな投資の判断が必要な局面で、将来の安定した医療提供の在り方を提案している。

大館での療養難民の回避を

〔問〕 人口減少の中でも、後期高齢者は20年後でも現在と変わらない。若い人の介護難職や老老介護が社会問題化する中で、扇田病院の慢性期対応の医療は市全体にとって貴重であり、市民も頼りにしている。

〔病院事業管理者〕 大館・鹿角医療圏の中でカバーする必要がある。民間の動向も注視したい。

〔問〕 急性期の総合病院、慢性期の扇田病院、市民にはどちらも必要不可欠で、機能分担がきちんと機能してきたと思うが。

〔市長〕 扇田病院は特色ある外来診療を提供することで合併時の協議確認事項である病床機能の役割分担と医療機能の連携を進めてまいりたい。

案ならば白紙で再検討を！

〔問〕 令和2年の市民による行政の通信簿では、最も重要度の高い施策は医療で、前回同様1位である。しかし満足度は22位と市民は十分でないと思っている。多くの市民の署名に真摯に向き合い白紙に戻す決断を強く希求する。

〔市長〕 撤回はしないが、署名は重く受け止めていると同時にスケジューリングありきではない。医療、福祉の連携を図りながら未来の医療を守るための議論を深めてまいりたい。

*新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

新過疎計画でさらなる地域づくりを

たむら
のりみつ
田村 儀光 議員（活性大館）



暮らし向上を図る上で不可欠だ。本市の持続的発展に向け、財源の最適な活用により最大の効果をえられるように取り組む。

〈問〉 コロナ対策の交付額はどれくらいか。有効に活用してほしい。

〔市長〕 本年度、本市には5億円が配分、対策基金などの財源も含め15億4000万円を活用し38事業を実施している。8月20日付で国から7600万円の追加内示があり、さらなる支援策を講じていく。

〈問〉 本年4月1日から施行された新過疎法の旧法からの変更内容はあるか。大館市への配分はどの位あるのか。市民の快適な暮らし向上のため、普及率60%台の下水道事業や道路整備事業等に有効活用すべきと思うが。

〔市長〕 旧過疎法「過疎地域自立促進特別措置法」が令和3年3月末で失効するため、昨年高橋大横手市長とともに当時の内閣官房長官の菅義偉内閣総理大臣に直接お会いして新法制定を要望してきた。その後、新過疎法「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」が成立。本法には、地域の持続的発展の支援に向けて「子育て環境の確保」や「再生可能エネルギーの利用促進」等の項目が新設された。昨年度の本市への配分額は約5億円であった。下水道、道路などのインフラ整備は

〈問〉 扇田病院について、「守る会」より届いた脅迫じみたアンケート依頼に「政争の具」にするなど言いたい。市民への説明会の様子を聞き、開催を進言したことを反省。当局からの説明を聞くこと計画よりも前倒しで事業を進めるべきと思う。

〔市長〕 令和元年9月に扇田病院が厚労省から再検証対象医療機関として公表されたことを受け、対応方針を都度議会に経過報告し、先の6月定例会に診療所を新築して総合病院との連携を強化し医療を提供する案を示した。説明会の様子を多くの方から聞き、今後市民の皆様から意見を伺う方法について改善する余地が大いにあると考えている。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

大館市の医療体制の今後の展望について

おばた
しんいち
小畑 新一 議員（公明党）



り、今後も幅広く情報収集しながら引き続き、意見交換していく考えだ。

〈問〉 扇田病院の方向性を決めるスケジュールについてお尋ねする。大館市の財政規模からすると、今すぐ決める必要に迫られているとは考えられない。まずは、じっくりと多様な意見を集めて、医療と介護の方向性を打ち出した上で、扇田病院の方向性を市民の皆様提案してはどうか。

〔病院事業管理者〕 説明会でいただいた御意見や市議会での審議を踏まえ、福祉・介護施策とも整合を図り、検討していく。小畑議員の提案を参考とさせてもらい、幅広く市民の御理解が得られるように進めていく。

〈問〉 救急医療情報キットの保管場所が、冷蔵庫の中では、見るのに抵抗がある。冷蔵庫のドアの外部に貼付けが可能なタイプにしてはどうか。

〔市長〕 冷蔵庫のドアへの貼付けタイプの活用については、非常に有効であると考えている。どちらのタイプかを利用者が選べるようにすることを含め、関係団体等と協議していく。

〈問〉 大館、鹿角の2次医療圏においても、2025年から2030年までは、後期高齢者の方の人口は増加する。大館市における今後15年間の医療、介護などの高齢者福祉の全体像を、説明していただきたい。

〔市長〕 大館市の計画では、令和7年度の後期高齢者数は、前年度比1097人増の1万6272人となっている。その中で介護を必要とする人数は、324人増の5805人と介護需要の増加が見込まれている。

〈問〉 扇田病院と秋田労災病院の機能は相性がよい。両病院を再編、統合すると魅力的な病院ができる。厚労省が支援している病院の統合には、市立病院と労災病院の統合の事例もある。検討してはどうか。

〔市長〕 労働者健康安全機構の有賀理事長とは毎年大館・鹿角医療圏の医療機能について意見交換してお

※新型コロナウイルス飛沫感染対策として、演壇に透明アクリル板を設置しました。

令和2年度決算特別委員会

1. 令和2年度一般・特別会計決算

特別委員会を設置し、9月15日、16日、17日に審査を行いました。

一般・特別会計決算特別委員会の構成

(◎印 委員長 ○印 副委員長)

◎阿部 文男 (令和会)	○富樫 孝 (市民の風)
石垣 博隆 (令和会)	武田 晋 (令和会)
佐藤 久勝 (令和会)	伊藤 毅 (令和会)
小畑 淳 (令和会)	笹島 愛子 (日本共産党)
小畑 新一 (公明党)	岩本 裕司 (市民の風)
田村 秀雄 (市民の風)	菅 大輔 (市民の風)



審査の様子

令和2年度大館市一般会計及び特別会計の歳入歳出決算…**認定**

2. 令和2年度企業会計決算

特別委員会を設置し、9月21日、22日に審査を行いました。

企業会計決算特別委員会の構成

(◎印 委員長 ○印 副委員長)

◎柳館 晃 (令和会)	○田村 儀光 (活性大館)
小棚木政之 (令和会)	日景 賢悟 (令和会)
佐々木公司 (令和会)	佐藤 眞平 (令和会)
齊藤 則幸 (公明党)	佐藤 芳忠 (市民の風)
明石 宏康 (市民の風)	相馬卫ミ子 (市民の風)
吉原 正 (市民の風)	



審査の様子

令和2年度大館市各企業会計の歳入歳出決算……………**認定**

◎議会報告会中止のお知らせ

市議会では、議会の議決結果や委員会での審査内容などを市民の皆様にご報告し意見交換を行うため、年1回議会報告会を開催しておりましたが、令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、やむを得ず中止とすることにしましたのでお知らせします。

私もひ・と・こ・と 第44回

か が 加賀 公 さん (田代町1区)



自分のイメージは 他人が決めるモノ

エゴサーチという言葉があります。タレントや有名人がネットで自分の名前を検索して、世間の評判などを調べるようです。有名であればあるほど検索で出てくる情報も多いようです。全国的に有名な人、地域限定で有名な人などいろいろありますが、さて、ここ大館市の市長さんや市議会議員さんのイメージはどうやって形成されていくのでしょうか。

正直なところ市民はどう思っているのでしょうか？
イメージは良いにこしたことがありません。いくら頼まれても「あの人嫌いだから、、」と言われればそれまでです。
夜のお酒の場での本音や評判は、ちよつと大げさすぎて、本当のところはよくわかりません。ましてや次の日になると「そんなこと言ったけが？」となります。
多くの人が集まる会合などでは、誰も個人的な本音など言いません。ボクは喫茶店営業をして長いので、いろんな人のいろんな話を聞くとはなしに聞いてきた経験があります。一つの傾向として、男性は何かしら思惑をもって話をしている感じがしますが、女性はなんの根拠もなく自分の感想を言います。
コーヒーもそうです。男性はうんちくや物語に共鳴します。「このコーヒーはとてども入手するのが難しく

1972年に大館市内でコーヒー専門店を開業。以来49年間にわたってコーヒー専業で事業を続けてこられた大館市はとても素敵な街だと思えます。

てなんてらかんてら…」という話を信じてますが、女性はどんな貴重なコーヒーでも「わたしこれ好きじゃない！」で終わってしまいます。
世の中の流れをなんとなく俯瞰していると、どうも女性の気持ちの流れが世の中の流れと一番リンクしているような感じがします。
女性が何かを言ったときに、間違いを指摘したり訂正する男性は、間違いなく、イメージが悪くなり、下手をすれば意識の中から存在すら消されてしまいます。女性の直観力に男はかないません。
世の中の男性はもっともって女性の話を聞いたほうが良いと思います。そういうボクはうるさい女性は嫌いなんですけど、、あ、消されたかも。
「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。
議会事務局までご連絡ください。

市議会の傍聴自粛のお願い

市議会では新型コロナウイルス感染症予防として「3つの密」を避けるための対策を講じています。傍聴席も少なくするなど、制限していますので、当面の間、本会議の傍聴を自粛してくださいようお願いいたします。

なお、傍聴する場合はマスクを着用し、議場入り口でアルコール消毒をしてください。

せき・発熱などで体調がすぐれない方は、傍聴をご遠慮ください。

編集後記

通常議会の他に決算特別委員会もあった9月議会も無事終わり、農家でもある自分は慌しい「収穫の秋」の園地で駆け回っております。コロナ禍でモヤモヤした生活が続いておりますが、大館市としては、ワクチン接種も順調に進み少しは安心出来たのではないのでしょうか？県外への不要不急の外出・移動が制限されている事で改めて大館市の良い処、美味しい物などを見つけられることが出来るはずですよ。ということで、大館にも美味しい農産物がたくさんあります。



『食欲の秋』です。
(石垣 博隆 記)